

平成27年度大学教育再生戦略推進費 「大学教育再生加速プログラム(AP)」 計画調書

[基本情報]

1. 大学名	東京工科大学							
2. 機関番号	32692							
3. 事業者 (大学等の設置者)	ふりがな がっこうほうじん かたやなぎがくえん (氏名) 学校法人 片柳学園 (所属・職名) 理事長 片柳 鴻							
4. 申請者 (大学の学長)	ふりがな かるべ いさお (氏名) 軽部 征夫 (所属・職名) 東京工科大学 学長							
5. 事業責任者	ふりがな おおやま やすひろ (氏名) 大山 恭弘 (所属・職名) 東京工科大学 工学部長							
6. テーマ	テーマⅣ 長期学外学修プログラム(ギャップイヤー)							
7. 事業のキーワード	コーオプ教育プログラム、必修科目、主体的学修							
8. 事業のポイント(400字以内) (399.5文字)	<p>本学は昭和61年の開学以来、「生活の質の向上と技術の発展に貢献する人材を育成する」という基本理念のもと実学主義教育を行ってきたが、国の政策方針等に鑑み、長期学外学修プログラムによる主体的学修を促すことが必要と考え、平成27年度に新設した工学部において、約2か月間のコーオプ実習(有給の学外就業体験)を全学生(入学定員280名)に対し必修科目として実施する。本コーオプ教育プログラムは、事前教育、学外就業体験、事後教育で構成される。事前教育では、主体的行動力、就業マナー、コミュニケーション能力等を身につける。就業体験では、コーオプ実習期間の全ての開講科目をクォーター開講にし、8週間のギャップイヤーを作り、学外就業体験を行う。また事後教育では、就業体験の振り返りやキャリア教育の推進等、主体的な学修の定着を図ることを目的とする。我が国で取組事例の少ないコーオプ教育プログラムを実施し大学教育改革を加速させる。</p>							
9. 取組学部等名 (必要に応じ[]書きで課程区分を記入。複数の部局で合わせて事業を形成する場合は、全ての部局名を記入。大学全体の場合は全学と記入の上[]書きで全ての部局名を記入。)	学問分野	<input type="checkbox"/> 人社系 <input checked="" type="checkbox"/> 理工系 <input type="checkbox"/> 農学系 <input type="checkbox"/> 医歯薬系 <input type="checkbox"/> 看護・医療 <input type="checkbox"/> その他・全						
	実施対象(学部)	<input checked="" type="radio"/> 学部						
	東京工科大学 工学部							
10. 学生・教職員数		学生数				教職員数(H27.4.1)		
		入学定員 (平成27年度)	全学生数 (H27.4.1)	収容定員 (平成27年度)	定員充足率 (H27.4.1)	教員数	職員数	合計
	学部	1,816 人	8,179 人	6,895 人	118.6%	271 人	80 人	351 人
	大学院	146 人	255 人	298 人	85.6%			
合計	1,962 人	8,434 人	7,193 人	117.3%				
11. 学部等名	学部等数	6						
	応用生物学部、コンピュータサイエンス学部、メディア学部、工学部、医療保健学部、デザイン学部							
12. 共同申請校	該当なし							

13.	学校教育法施行規則第172条の2第3項において「公表するものとする」とされた教育研究活動の状況について、公表しているHPのURL
	http://www.teu.ac.jp/koukai/index.html

14. 事業経費(単位:千円) ※千円未満は切り捨て							
年度(平成)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	合計	
事業規模	10,296	18,935	22,409	23,609	22,349	97,598	
内訳	補助金申請額	10,296	18,935	20,000	13,315	6,640	69,186
	大学負担額			2,409	10,294	15,709	28,412

※1. 文部科学省や他省庁が実施する他の補助金(公募要領P. 6参照)は「大学負担額」に計上しないこと。

※2. 国立大学における運営費交付金、公立大学における運営費交付金等、私立大学の私立大学経常費補助金等は「大学負担額」に計上しないこと。

※3. 共同申請の場合、事業の総額を下欄に()で記入すること(自動表示)。